



一橋大学附属図書館概要

令和 4 (2022) 年度

目 次

1. 一橋大学附属図書館の機能・特色	1
2. 令和3年度の活動状況	4
3. 統計	13
4. 機関リポジトリ	15
5. 利用案内	21
6. 施設	23
7. 組織	27
8. 沿革	30

《表紙写真》 附属図書館 建物正面（H27.4 撮影）

本概要に掲載された文章、写真、図版等の著作権は、特記あるものを除いて、すべて一橋大学附属図書館に属します。著作権者の許諾を得ずに、著作権法の定める範囲を超えて、本概要からの転載等を行うことは禁止されています。

1. 一橋大学附属図書館の機能・特色

一橋大学附属図書館は、資料を集中化させる中央図書館制度を採っており、商法講習所の開設以来 147 年を経た歴史の中で、社会科学を中心とした約 206 万冊の図書や約 17,100 タイトルの雑誌、60 にも及ぶ貴重なコレクションを蓄積してきた。

さらに、社会科学を中心とした電子ジャーナルや電子ブック、データベースの充実、情報リテラシープログラム等の展開を図り、本学の研究教育を支援している。

また、一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)、ウェブサイトや展示等により、本学の研究成果や知的・文化的資産である図書館資料を国内外に発信するとともに、他大学図書館等との連携強化によりサービスの向上を目指している。

1.1 一橋大学附属図書館の機能

研究支援	世界的研究に資する社会科学に関する総合的資料の収集に努める。 一橋大学機関リポジトリにより本学教員の業績とその一次コンテンツへのアクセス利便性を向上させる。
教育・学修支援	学生の情報リテラシー能力向上を支援し、学生の主体的活動と連携した学生協働事業を行うとともに、電子的資料や情報機器を活用した学修環境整備を進める。
社会貢献	本学が所蔵する貴重なコレクションを電子化することにより、国内外へ広く公開する。また、展示を行うことにより、学内関係者にとどまらず、地域住民等へ公開する。

1.2 一橋大学附属図書館の特色

(1) 中央図書館制度

中核となる図書館に資料を集中配置する仕組みで、当館にはこの制度により、社会科学系の研究総合大学としての研究教育活動に沿った資料が体系的、網羅的に収蔵されてきた。これにより、教員と学生の情報アクセス格差が限りなく小さくなるとともに、資源の共有、資料費の有効活用が図られている。

(2) 開架 140 万冊

蔵書の大半のおおよそ 140 万冊の図書・雑誌を開架配置しており、自由に利用することができる。これにより、図書館利用者の学習・研究が迅速かつ効率的に行われる基盤が形成されている。

(3) 電子的なサービス

社会科学系を中心とした電子ジャーナル(約 31,000 タイトル)や電子ブック(約 34,100 タイトル)、各種データベース(約 70 種)を提供している。ウェブサイトで貸出予約や図書購入申込、文献複写・相互貸借申込ができる MyLibrary サービスや、社会科学系の電子リソースポータルを提供している。電子リソースの多くは、EZproxy システムによりキャンパス外からもアクセスできる。

一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)は、一橋大学の研究成果や多様なコンテンツを収集し、積極的に発信することを目指している。

館内には、利用者が快適・安全に利用できる PC(50 台)を設置している。また、学内利用者は、持込ノート PC などを学内無線 LAN によりキャンパスネットワークへ接続することができる。

(4) 静謐な読書空間

現在の図書館のうち最も古い時計台棟は、昭和 5(1930)年に建てられ、平成 26(2014)年に改修工事が行われた。

大閲覧室(2 階)は内装の改修を行い明るく綺麗に生まれ変わったが、景観は当時のままに、図書館としての静謐な読書空間を提供している。



(5) 展示

図書館展示室では、常設展示として本学の歩みと所蔵コレクションを紹介している。

毎年秋の企画展示では、普段展示できない貴重資料等を公開している。

平成 13(2001)年に整備された図書館展示室は、時計台棟改修工事に伴い内装も新しくなり、平成 27(2015)年 5 月 17 日にリニューアルオープンした。



(6) 大学図書館としての全国的な役割

○ 外国雑誌センター館

国立大学に設置された分野別外国雑誌センター館(9 館)のひとつとして、昭和 60(1985)年から、国内未収集の社会科学系の外国雑誌等を体系的に収集・整理し、国内外の研究者等を対象にサービスを提供している。

○ EU 情報センター(EUi)

世界に約 500 機関(日本では 18 機関)ある欧州連合情報センター(European Info=EUi)のひとつとして、平成 3(1991)年から、EU 諸機関の主要な公式出版物や資料を備えている。

○ コンソーシアム等組織における連携活動

国立大学図書館協会、大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)などの会員館として、各組織の運営に携わっている。

(7) 他の大学等との図書館間連携・相互協力

○ 国内の大学図書館等との相互利用

次の各大学・研究機関の図書館との協定により、図書館の相互利用を行っている。

機関名	内容	開始時期
東京医科歯科大学 東京工業大学 東京外国語大学	「四大学連合憲章」に基づき、入館利用(館内閲覧、文献複写)のほか、特別聴講学生には館外貸出も可とする。	平成 15(2003)年 10 月
東京学芸大学 東京農工大学 電気通信大学	東京多摩地区の国立 5 大学の間で、入館利用を可とする。	平成 15(2003)年 10 月
慶應義塾大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
早稲田大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
上智大学	ILL による所蔵資料の現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
アジア経済研究所	ILL による所蔵資料の現物貸借を行う。	平成 21(2009)年 10 月
国際基督教大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 23(2011)年 4 月
津田塾大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 23(2011)年 7 月
アジア経済研究所	入館利用および個人貸出を可とする。	平成 26(2014)年 1 月

○ 海外の大学図書館との交流

平成 24(2012)年から中国人民大学図書館と交流協定を結び、図書館の相互利用などの交流を行っている。

(8) 情報リテラシー教育支援

図書館の利用案内や、文献の検索・入手等の方法、データベースの利用法などのガイダンスを開催している。

2. 令和 3 年度の活動状況

2.1 主なトピックス

(1) 新型コロナウイルス感染症対策:大学の活動指針に応じた段階的なサービスの維持

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための大学としての活動指針に則り、感染症拡大防止のための措置を最大限講じた上で、本学教職員・学生に対するサービスを維持した。令和 3 年度は大学が対面授業主体となることを前提に、前年度より、さらに一段徹底した対策を講じた。

- ① 図書館内滞在時間記録が可能な入退館システムの導入
- ② 入館時に体温測定が可能な検温装置の導入
- ③ グループ学習室等への飛沫防止アクリル板の導入

附属図書館利用規則に従った開館スケジュールを基本としたが、4 月と 5 月は前年度の限定開館からの移行期間として開館日時を短縮(平日は夜 8 時まで、土曜休館)、6 月以降は通常通りの開館日時とした。

利用者同士の距離を保つため、利用可能な閲覧席及び PC 席を約半数とし、グループ学習室と時計台棟コモンズについては、原則定員を減らし、感染が拡大している期間には閉鎖した。

(2) 学園史資料室のホームページ公開

令和 2 年度より附属図書館内の組織として位置付けられている学園史資料室は、従来から本学に関する資料の調査、収集、整理を行っており、本学の学園史に関わる様々な資料及びコレクション等を所蔵している。令和 3 年 8 月に学園史資料室のホームページを公開した。<https://universityarchives.lib.hit-u.ac.jp/>



2.2 年間活動記録

(1) 情報リテラシー教育関連

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則としてオンライン(解説動画の提供またはウェブ会議システムによるライブ配信)で実施した。

① 図書館主催講習会

開催日	内容	開催回数	参加人数
4月1日(木)以降	図書館ガイダンス 資料の探し方、図書館サービスについての動画やスライド資料とともに、利用者自身で館内を回り、利用方法や資料配架場所、設備等について学べるセルフツアーガイド(館内施設案内)を Google Classroom にて提供した。	—	152
4月(各授業による)	リサーチ・スキルズ 大学での学修に必要な文献検索と入手のスキル習得を目的とし、附属図書館職員が、学部1年次の導入ゼミの一環で実施した講習会。ライブ配信による《講義編》と検索・資料借用の実習を行う《館内実習編》の2部構成とした。	10	288
4月27日(火), 5月12日(水), 5月19日(水)	データベースガイダンス Web of Science / EndNote, 東洋経済デジタルコンテンツライブラリー, Westlaw Japan の提供会社が講師として、ライブ配信でデータベースの活用方法を解説。後日 Google Classroom でガイダンス録画を学内限定で公開。	3	21
6月2日(水)	英語論文の書き方ガイダンス 海外の英文ジャーナルへ論文投稿を考えている大学院生や、留学を考えている学部生向けに、英語論文を書くためのライティングスキルについての講義を英語科と共催で実施。	1	42
6月4日(金)～ 6月28日(月)	ワークショップ:法学科目(憲法)の答案を書くために 法学科目の答案作成のための主に法学部1～2年生向けワークショップ。法学研究科と共催で Google Classroom を使用した録画での講義, 個人ワークを行い, アンケート上で講師宛に寄せられた質問とその回答をまとめた「Q&A」を, 同じく Google Classroom 内で公開した。	1	48
10月6日(水), 11月17日(水)	データベースガイダンス ProQuest (New York Times, The Wall Street Journal), Web of Science / EndNote, 日経 NEEDS FinancialQUEST のデータベース提供会社が講師として、ライブ配信でデータベースの活用方法を解説。可能な範囲で後日, Google Classroom でガイダンス録画を学内限定で公開。	3	34

② オンデマンド・ガイダンス

教員からの依頼により、資料の探し方、データベースの使い方など、要望に合わせた内容で図書館職員が学生に解説する。

研究科等	実施回数	参加人数 (概数)
経営管理研究科・商学部	1	16
経済学研究科・経済学部	1	11
法学研究科・法学部	3	61
社会学研究科・社会学部	1	15
言語社会研究科	1	15
国際・公共政策大学院	2	38
国際教育交流センター	1	6
合計	10 回	162 人

オンデマンドガイダンス コンテンツ一覧

目的別コンテンツ紹介。自由に組み合わせできます。

- 1～2年生のうちから、ちゃんと本や論文を調べてレポートを書いてほしい！
 - 図書・雑誌を探す (図書蔵書検索のトップ)
 - 論文を探す (論文と書影・全文するには)
- まずはここから！
 - 図書館を利用する (フロア案内も便利なウェブサイト)
 - 図書館Webサービス活用 (蔵書から電子リソース活用)
- 英語論文や新聞記事も使いこなしてほしい！
 - 新聞記事を探す (新聞記事の検索・表示)
 - 英語論文の検索と入手 (英語論文の検索・表示)
- もっと詳しく！
 - 一橋以外の資料を探す (他機関から資料も活用)
 - Google Scholarで探す (Google Scholarの便利な使い方)
- 卒業論文の準備や大学院ゼミで専門分野の情報を活用してほしい！
 - 卒業論文を探す (論文の検索・表示)
 - 海外経済学文献を探す (経済学文献の検索・表示)
 - 日本の統計を調べる (日本の統計の検索・表示)
- さらに専門的に！
 - 国内企業情報の調べ方 (国内企業情報の調べ方)
 - 国内判例の調べ方 (国内判例の調べ方)
 - 海外の統計を調べる (海外の統計の調べ方)

お申込みは図書館Webフォームから *サンプルスライドも準備しています
<https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/seminar/on-demand/>
 一橋大学附属図書館

(2) 展示

① 図書館展示室

例年 11 月の大学祭(一橋祭)の時期にあわせて、企画展示を開催している。常設展示として、本学の源流である商法講習所の設立から東京商科大学を経て新制一橋大学設立に至る歴史を紹介する「一橋大学の歩み」に加え、当館の所蔵するコレクションを紹介している。

11 月 4 日(木)～ 12 月 24 日(金)	令和 3 年度企画展示「渋沢栄一と一橋大学：学園史にたどるその足跡」
---------------------------	------------------------------------



渋沢栄一と一橋大学
学園史にたどるその足跡

Web展示 2021年11月4日(木)～開催
<https://www.lib.hit-u.ac.jp/about/tenji/kikaku/kikaku2021/>

本学学生・教職員は図書館展示室(時計台横1階)で展示をご覧いただけます
 2021年11月4日(木)～30日(金) 10:00～17:00
 休館日 土・日・祝日(一橋祭期間中を除く)

お問合せ先 一橋大学附属図書館
 〒184-8602 東京都国立市2-1-1 Tel:042-580-8240
lib-main@lib.hit-u.ac.jp

一橋大学附属図書館

② 読書案内小展示(Yomocca コーナー)

4月 1日(木) ～ 5月 30日(日)	アカデミックスキルズ
5月 17日(月) ～ 7月 5日(月)	こころを知るーメンタルヘルスケアに向けて
6月 1日(火) ～ 8月 1日(日)	ベーシック・インカムの研究
8月 2日(月) ～ 10月 17日(日)	教育格差を考える
8月 10日(火) ～ 10月 17日(日)	気候変動は繰り返すー地球の平熱、人類の放熱ー
10月 19日(火) ～ 12月 27日(月)	幅広い「地理」の世界ー空間、場所を考えるとはどういうことかー
11月 8日(月) ～ 1月 31日(月)	渋沢栄一を読む
11月 10日(水) ～ 12月 26日(日)	ブックトーク 2021 関連図書展示 都市をつかいこなす
1月 5日(水) ～ 3月 31日(木)	イディッシュ語とその世界
2月 1日(火) ～ 4月 30日(土)	フェミニストと対話するー批判的思考力と他者への豊かな想像力のためにー



Yomocca コーナー展示

(上)「フェミニストと対話する」(右)「イディッシュ語とその世界」

③ その他館内



7月6日(火)～ 8月9日(月)	令和3年度日・EUフレンドシップウィーク展示「祝う・祭る・寿ぐヨーロッパ」(Yomocca コーナー)
------------------	---

(3) 行事

①	10月27日(水)	西洋社会科学古典資料セミナー(社会科学古典資料センター)(オンライン開催)
②	11月19日(金)～21日(日)	令和3年度蔵書点検
③	12月1日(水)	ブックトーク2021 「都市をつかひこなす 小さな場所から始まる社会の可能性を考える」開催 講師:町村 敬志氏(一橋大学名誉教授/一橋大学社会学研究科特任教授), オンラインミーティング(ライブ配信)



ブックトーク2021

(上)講師の町村先生 (右)広報ポスター

(4) 館内ワーキング・グループ、プロジェクトチーム活動

情報リテラシー教育ワーキング・グループ(通年)	主体的な学修活動促進のために、ガイダンス等を通じて、情報リテラシー教育を支援する。
図書館利活用ワーキング・グループ(通年)	学生選書会、ブックトーク、高本小展示等の学生向け読書推進活動を行う。
図書館業務システム定例会(通年)	図書館業務システムの運用課題に取り組む。
資料等再配置計画検討ワーキング・グループ(通年)	資料配置等における課題を洗い出し、第3期中期目標・中期計画に沿った適切な資料配置および効果的なスペース活用について検討する。
企画展示ワーキング・グループ	図書館展示室で開催する展示について、計画・実施する。

(5) 館内勉強会・報告会等

①	11月18日(木) ～19日(金)	図書修理実習(古典資料係・篠田, 石井)
---	----------------------	----------------------

(6) 広報紙 BELL の発行

『BELL』は、附属図書館の活動・サービスをアピールするための広報紙である。令和3年度は17回の刊行を行った。印刷版を館内2カ所で配布しているほか、電子版を機関リポジトリ HERMES-IR で公開している。



No.197 2021-04-20	春学期データベースガイダンスのお知らせ Web of Science, EndNote 他 ／新規データベース導入のお知らせ Lexis Library, Westlaw Japan／ 2021 年度院生公費サービス開始しました
----------------------	--

No.198 2021-05-19	英語論文の書き方ガイダンスのお知らせ／法学ワークショップ「法学科目（憲法）の答案を書くために」のお知らせ
No.199 2021-06-09	夏休み長期貸出のお知らせ／Yomocca コーナー展示のお知らせ「ここを知るとメンタルヘルスケアに向けて」／Haver Analytics のトライアルについて／新規データベース導入のお知らせ／機関リポジトリ登録作業停止のお知らせ
No.200 2021-07-14	BELL (200 号) の発刊を迎えて／Oxford University Press の電子ブックが期間限定読み放題／一橋大学機関リポジトリ (HERMES-IR) が JPCOAR スキーマに対応しました／Yomocca コーナー展示「ベーシック・インカムの研究」
No.201 2021-07-14	日・EU フレンドシップウィーク展示「祝う祭る寿ぐヨーロッパ」の案内／新規データベース導入のお知らせ JSTOR Arts & Sciences VI, Taylor & Francis Online Journal Archive 他
No.202 2021-08-24	読書スペース Yomocca 展示「教育格差を考える」「気候変動は繰り返す―地球の平熱、人類の放熱―」の紹介／研究成果の普及に識別子をご活用ください／データベーストライアルのお知らせ KISS、東亜日報ウェブ版
No.203 2021-09-24	学園史資料室について 創立 150 年への鐘声
No.204 2021-09-24	秋・冬学期データベースガイダンスの案内 ProQuest, Web of Science 他／秋冬学期電子ジャーナル、データベーストライアルのお知らせ
No.205 2021-10-19	本学研究成果のオープンアクセス化を促進する「Open Access Week をご存じですか？」「そもそもオープンアクセスとは？」「研究成果の管理や公開について一橋大学の先生方にインタビューしました」
No.206 2021-10-19	法学科目（憲法）の答案を書くために／英語論文の書き方ガイダンス
No.207 2021-10-19	ブックトーク 2021「都市をつかいこなす 小さな場所から始まる社会の可能性を考える」／現在トライアル中の電子リソース紹介

No.208 2021-10-19	企画展示「渋沢栄一と一橋大学 学園史にたどるその足跡」／秋・冬学期データベースガイダンスについて／クリストフ・ヴァイゲル『公益主要職業図絵』を社会科学古典資料センターに収蔵しました
No.209 21-11-16	読書スペース Yomocca 展示の紹介「幅広い『地理』の世界」／冬休み長期貸出のお知らせ／電子ブック・電子ジャーナル・データベースのトライアル実施中／西洋社会科学古典資料セミナーをオンラインで開催しました
No.210 2022-01-19	高本小展示「イディッシュ語とその世界」の案内／ブックトーク 2021 開催報告／電子リソース新規導入のお知らせ 本年より新しく導入した電子リソースをご紹介します／Nikkei Asia が無料購読できます
No.211 2022-02-21	高本小展示「フェミニストと対話する」の案内／授業用図書の購入申込を受け付けています／3 月に卒業・修了・退職されるみなさまへ／新規データベース（初期アメリカ刊行物史料集成）導入のお知らせ／春休み長期貸出のお知らせ
No.212 2022-03-18	新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！
No.213 2022-03-18	リザーブブックって何？／新規データベース導入のお知らせ Times Digital Archive Supplement 2015-2019, The Economist Historical Archive Supplement 2016-2020

3. 統 計

3.1 所蔵資料状況

(1) 所蔵資料数

令和 4(2022)3 月 31 日現在

資料区分		内訳		合計
図書(冊)	和		1,114,985	2,064,554
	洋		949,569	
雑誌(種類)	和		7,005	17,126
	洋		10,121	
電 子 的 資 料	電子ブック(タイトル)	和	2,679	34,190
		洋	31,511	
	電子ジャーナル(種類)	出版社	7,347	30,998
		その他	23,651	
	データベース(種類)	国内	20	76
		国外	56	

※図書・雑誌の「和」は中国語, 韓国語を含む

(2) 年間受入資料数

資料区分	令和 3(2021)年度		参考:令和 2(2020)年度	
図書(冊)	和	12,094	和	9,797
	洋	3,526	洋	5,776
	計	15,620	計	15,573
雑誌(種類)	和	1,167	和	1,243
	洋	719	洋	735
	計	1,886	計	1,978

※図書・雑誌の「和」は中国語, 韓国語を含む

※「雑誌」には, 個別契約の電子ジャーナルを含む

(3) 図書館資料費(専門図書費等・決算)

	令和 3(2021)年度	参考:令和 2(2020)年度
専門図書費等	322,479 千円	323,167 千円

※他部局からの振替執行分を含む

3.2 利用状況

(1) 開館日数と入館者数

	令和 3 (2021) 年度		参考:令和 2 (2020) 年度	
開館日数	326		218	
入館者数	平日	146,918	平日	34,960
	休日	19,697	休日	170
	計	166,615	計	35,130

(2) 館外貸出冊数

	令和 3 (2021) 年度		参考:令和 2 (2020) 年度	
館外貸出冊数	学生	83,428	学生	107,118
	教職員	9,931	教職員	8,703
	学外者	0	学外者	0
	計	93,359	計	115,821

(3) 図書館相互協力

	令和 3 (2021) 年度		参考:令和 2 (2020) 年度	
文献複写:受付 (件数)	国内・大学図書館	2,134	国内・大学図書館	1,294
	国内・その他	119	国内・その他	60
	国外	11	国外	23
	計	2,264	計	1,377
文献複写:依頼 (件数)	国内・大学図書館	1,218	国内・大学図書館	820
	国内・その他	34	国内・その他	38
	国外	7	国外	4
	計	1,259	計	862
現物貸借:受付 (冊数)	国内・大学図書館	538	国内・大学図書館	375
	国内・その他	4	国内・その他	13
	国外	0	国外	0
	計	542	計	388
現物貸借:依頼 (冊数)	国内・大学図書館	803	国内・大学図書館	635
	国内・その他	57	国内・その他	40
	国外	0	国外	1
	計	860	計	676

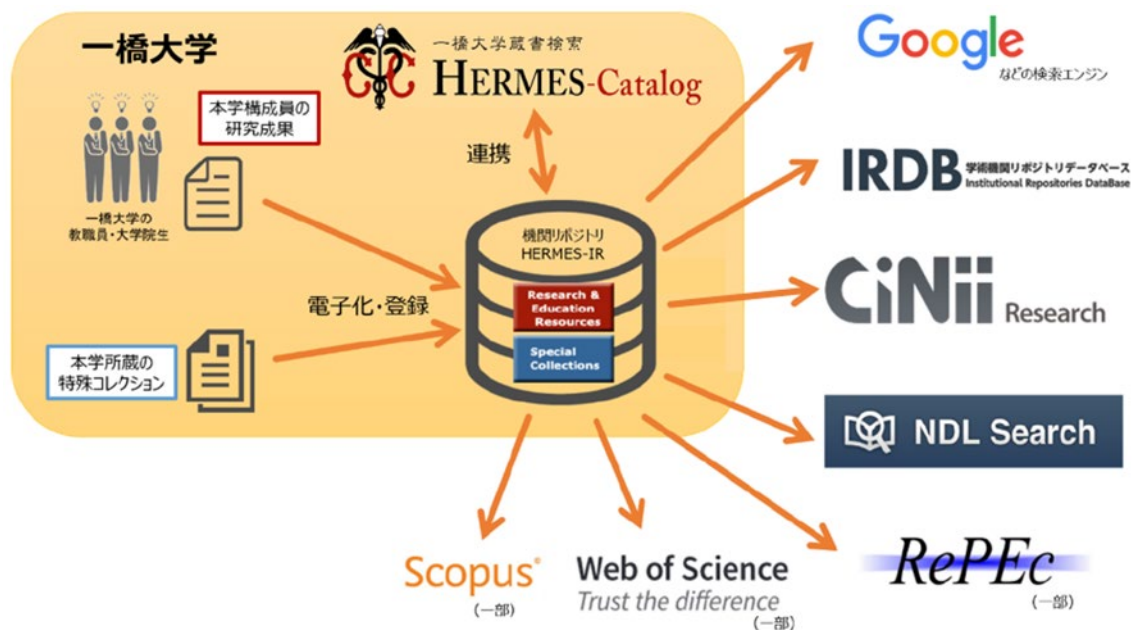
4. 機関リポジトリ

4.1 一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”の概要

本学の研究・教育活動の成果をインターネットで広く世界に発信するため、平成19(2007)年5月から一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”を公開している。

機関リポジトリとは、機関(大学)で生産された研究成果の全文を電子的に保存し、発信するインターネット上の集積庫のことである。

HERMES-IR は附属図書館長を統括責任者とし、学術・図書部が運営を支援している。また、国立情報学研究所をはじめとする他機関と協力して、学術情報の流通を促進する機能を果たしている。



(1) Research & Education Resources

一橋大学の研究・教育活動の成果を電子媒体で収集・保存し、インターネット上で全文データを発信している。外部のデータベースがメタデータ(著者名, 論題, 雑誌名など)をハーベスト(プログラムのメタデータの収集)することにより、学外のサイトでも HERMES-IR に登録されたデータが検索されるようになっている。

(2) Special Collections

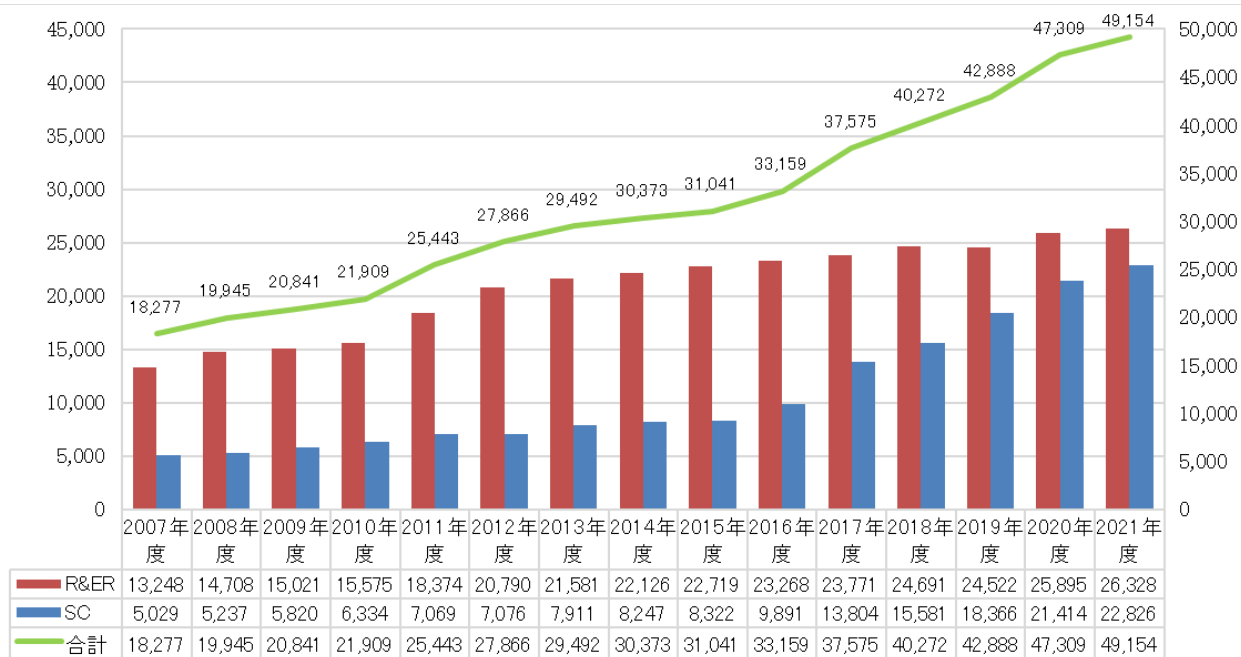
本学が所蔵する特殊コレクションを電子画像化し、インターネット上で発信している。社会科学史上、貴重な古典籍や数々の原史料(写真, 図譜類, 文書類, 手稿類, 博物資料等)を電子化することにより、資料保存と公開利用のバランスを図っている。また、学園史関係資料のアーカイブとしての役割も担っている。

4.2 統計

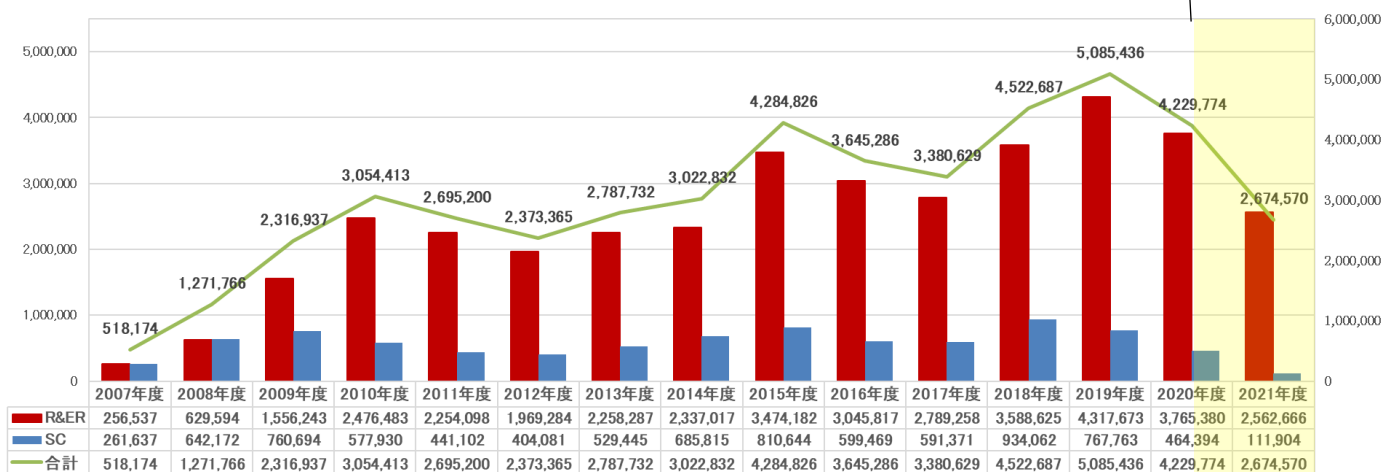
■ R&ER : Research & Education Resources

■ SC : Special Collections

(1) コンテンツ累計登録数〔件〕

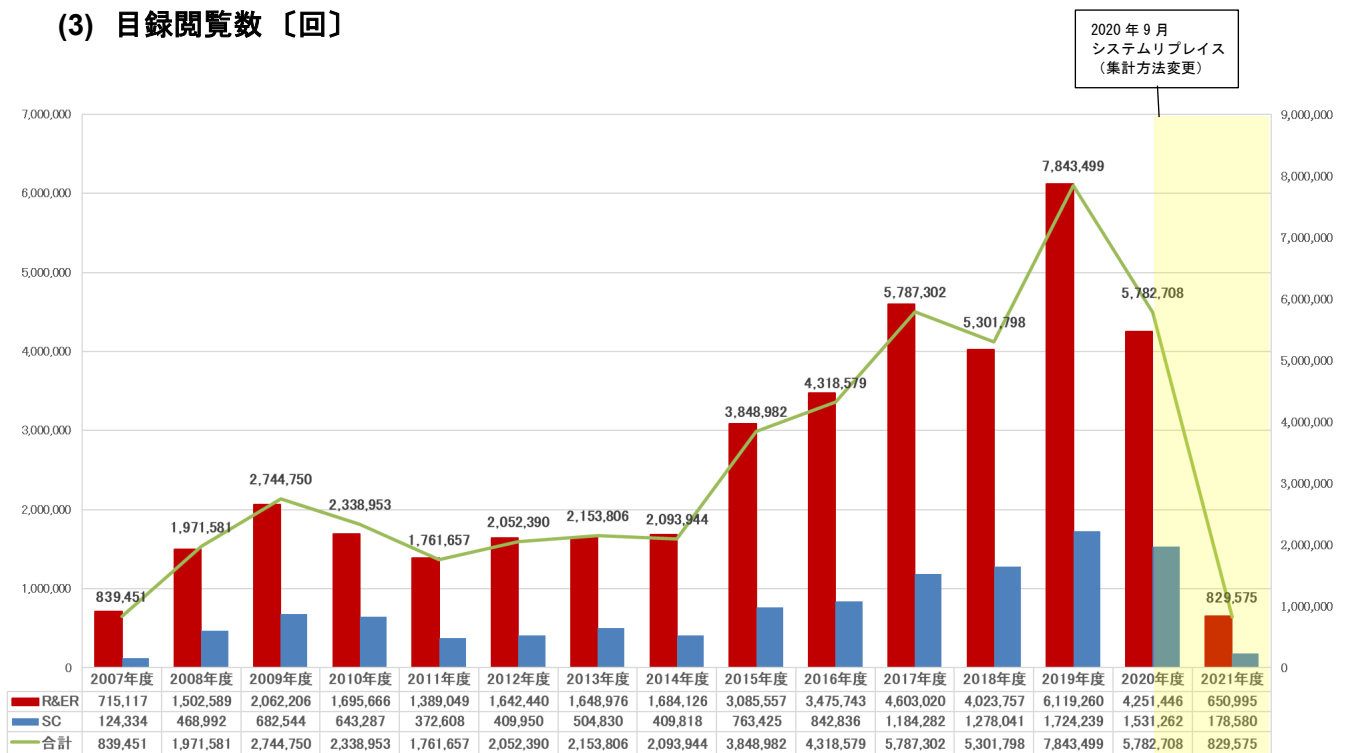


(2) 本文閲覧数〔ページビュー〕



※2020年9月のシステムリプレイスにより、集計方法に変更が生じた。

(3) 目録閲覧数〔回〕

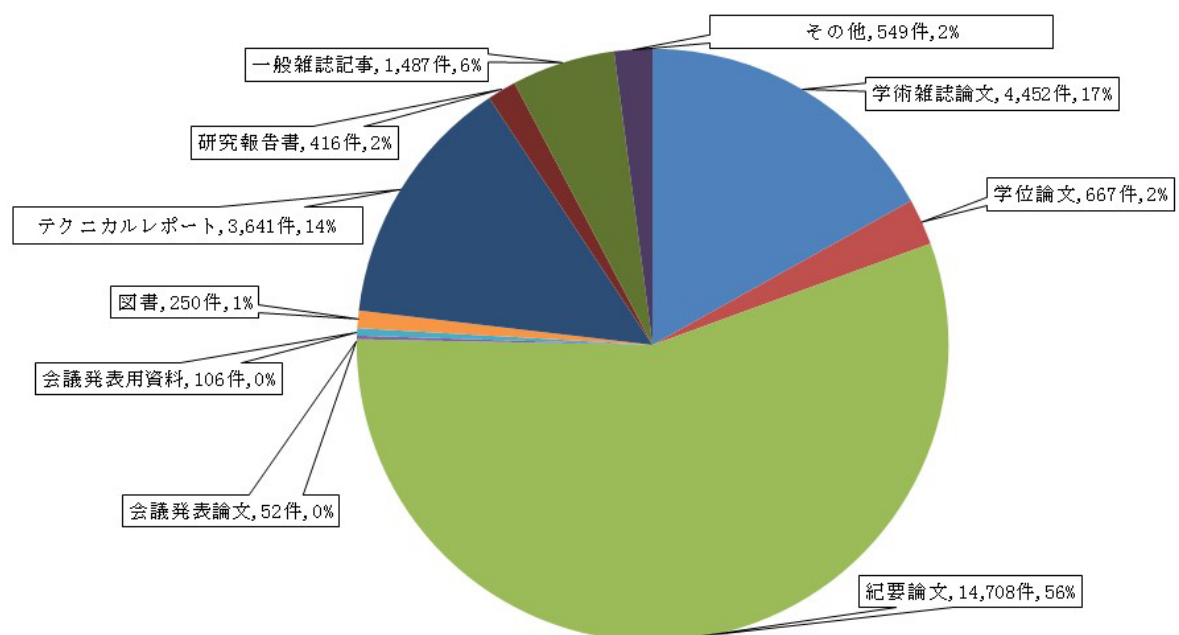


※2020年9月のシステムリプレイスにより、集計方法に変更が生じた。

4.3 Research & Education Resources

(1) 登録コンテンツ内訳

令和4(2022)年3月31日現在



(2) 外部データベース等との連携

HERMES-IR は、外部データベース等と以下のように連携を行うことで、視認度や利便性の向上を図っている。

- サーチエンジン(Google 等)からの検索・リンク
- 日本の機関リポジトリ・ポータル“IRDB”からの検索・リンク
- 「一橋大学研究者情報」(HRI : Hitotsubashi Researchers Information) データベースとの相互リンク
- 分野別リポジトリやデータベースとの連携(書誌情報やコンテンツ提供)
 - ・ RePEc : Research Papers in Economics (経済学分野の世界的な主題リポジトリ)
 - ・ EBSCOhost (EBSCO 社が提供する、世界的・学際的な学術文献データベース)

(3) デジタル識別子(DOI)の付与

機関リポジトリ登録コンテンツの利用促進および検索環境の向上を図るため、平成 28(2016)年度より、本学紀要論文、博士論文(平成 25(2013)年度以降学位授与分)を対象として、ジャパンリンクセンター(JaLC)の DOI(Digital Object Identifier)の付与を実施している。また、令和元年度には、本学学園史資料のうち雑誌や図書資料を DOI 付与の対象に加えた。

(4) 「一橋大学オープンアクセス方針」の策定

本学の研究力を広く世界に発信し、学際的な研究やイノベーションの創出を促し、その成果を社会に還元するため、平成 29(2017)年 10 月に「一橋大学オープンアクセス方針」を策定し、平成 30(2018)年 4 月 1 日より実施している。

4.4 Special Collections

令和 2(2020)年に導入した新しい機関リポジトリシステムが有する表示機能を活用して、国際的な画像共有の枠組みである IIIF (International Image Interoperability Framework) に対応した画像公開を行っている。

近代日本経済史・経営史デジタルアーカイブ

- | | |
|-------------|------------------|
| ・修学旅行等報告書 | ・大伝馬町長谷川木綿店古帳 |
| ・商品陳列所旧蔵報告書 | ・日本郵船株式会社社会計帳簿類 |
| ・農商務省調査資料 | ・第三回内国勸業博覧会出品解説書 |
| ・商業慣習調査資料 | ・江戸期商業関係資料 |
| ・西川孝治郎文庫 | ・明治期商業関係資料 |
| ・札差関係資料 | |

近現代日本の専門職業人養成教育資料データベース

本学の講義ノート, 受講ノート, 教材等の教育・研究資料のコレクション

研究者手稿類デジタルアーカイブ

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・大塚金之助(1892-1977) | ・古川栄一(1904-1985) |
| ・左右田喜一郎(1881-1927) | ・三浦新七(1877-1947) |
| ・杉村広蔵(1895-1948) | ・藻利重隆(1911-2000) |
| ・福田徳三(1874-1930) | |

学園史関係資料

一橋大学にゆかりのある資料(関係図書, 論文・記事, 講演等発表資料ほか)

社会科学古典資料センター所蔵資料

- ・社会科学古典資料センター所蔵インキュナブラ
- ・フランクリン文庫
- ・メンガー文庫
- ・その他貴重書

附属図書館所在肖像画等コレクション

一橋大学附属図書館に所在する肖像画, 銅像, レリーフ等のコレクション

井藤半彌旧蔵ドイツ紙幣等コレクション

一橋大学元学長 井藤半彌(1894-1974)が, ベルリン留学中(大正 11(1922)年 11 月-大正 14(1925)年 3 月)に収集した, インフレ期(1922-23)のドイツ紙幣, 緊急通貨(Notgeld), また, それとほぼ同時期に中国大陸で使用された法幣, 軍票のコレクション

奎星帖

明治年間の広告を中心に, 記事の切り抜き・肖像写真・領収書・名刺・封筒・はがき・番付・本の題籤や見返し・短冊・扇面図・江戸時代の文書の断簡等雑多なものを貼り込んだスクラップブック。山寺清二郎が製作

戦前期アジア諸国写真コレクション

陸軍経理学校が研究のために収集した, 昭和初期から第二次世界大戦期にかけてのアジア・太平洋諸地域の風俗・風景・民族・産業等の 3,705 枚の写真コレクション

幸田文庫

文豪幸田露伴の弟で, 1922-1940 の間, 本学で日本経済史を担当した幸田成友博士(1873-1954)が蒐集した「幸田文庫」の一部。武鑑類の和装本が大半を占める

都留重人名誉教授寄贈資料

一橋大学元学長, 一橋大学経済研究所元所長 都留重人が私蔵していた手稿, 書簡, 写真を含む私文書などのコレクション

日本・旧満州鉄鋼業資料(水津利輔氏旧蔵資料)

昭和製鋼所の拡充を中心とする満州鉄鋼業の建設およびその動因となった「日満支」の範囲での鉄鋼増産計画の立案に関する資料

剣友会資料(一橋大学剣道部 OB 会資料)

一橋大学剣道部（明治 34(1901)年 5 月創部）の初代師範である，鹿島神傳直心影流正統 15 代一徳斎山田次朗吉先生の著書および関連資料

5. 利用案内

※令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、附属図書館利用規則・細則に沿った、下記の通常開館時間・サービス内容とは一部異なる対応をとった。

5.1 開館時間・各種サービス案内

		平日(月～金)		土・日・祝	
		授業期	休業期	授業期	休業期
図書館本館		8:40～22:00	8:40～19:00	9:30～20:00	9:30～19:00
雑誌棟		8:40～21:30	8:40～18:30	9:30～19:30	9:30～18:30
大閲覧室		8:40～21:30	8:40～18:30	—	
時計台棟コモンズ		8:40～20:00	8:40～17:00	—	
名誉教授閲覧室		8:40～21:30	8:40～18:30	—	
書庫	(入庫)	9:00～16:30		—	
	(出納)	9:00～16:45 (注 1)			
貴重資料利用		9:00～17:00	9:00～12:00, 13:00～17:00	—	
マイクロ資料利用		9:00～17:00, 17:00～ 閉館 30 分前 (注 2)	9:00～12:00, 13:00～17:30	9:30～閉館 30 分前(注 2)	
ヘルプデスク(レファレンス・文献複写・現物貸借)		9:00～17:00	9:00～12:00, 13:00～17:00	—	
利用証発行		9:00～17:00		—	

(注1) 学内者は、事前申込により平日夜間、土日祝日に書庫資料の閲覧が可能

(注2) 学内者は、事前申込により平日夜間、土日祝日にマイクロ資料の閲覧が可能

5.2 利用の範囲

利用者区分	利用証有効期間	閉架書庫 入庫	館外貸出
教職員	在職期間	○	○
学部学生	在学期間	×	○
大学院学生	在学期間	○	○
名誉教授	終身	○	○
元専任教員	交付日から1年間(更新可)	○	○
研究員	在籍期間	○	○
学部卒業生	交付日から1年間(更新可)	×	×
大学院修了または単位修得後 退学者	修了または退学後5年間	○	○
大学院修了または単位修得後 退学5年以上	交付日から1年間(更新可)	×	×
他機関の研究者(館長許可)	交付日から1年間(更新可)	○	○
大学功労者	終身	×	○
学外者	当日限定	×	×

5.3 館外貸出冊数・貸出期間

利用者区分	貸出 冊数	貸出期間		
		学習用図書	一般図書	製本雑誌
教職員	70冊	2週間	年度末まで	1週間
学部学生	10冊	2週間	2週間	1週間
大学院学生	30冊	2週間	2か月	1週間
名誉教授	70冊	2週間	年度末まで	1週間
元専任教員	10冊	×	1か月	1週間
研究員	30冊	2週間	2か月	1週間
大学院修了または単位修得後 退学5年以内	10冊	×	1か月	1週間
他機関の研究者(館長許可)	10冊	×	1か月	1週間
大学功労者	10冊	×	1か月	1週間

6. 施 設

6.1 建物

附属図書館施設は国立・西キャンパスおよび小平キャンパスにあり、昭和 5(1930)年竣工以来の様々な建物で構成されている。

(1) 時計台棟

- ・昭和 5(1930)年竣工
- ・昭和 60(1985)年, 平成 12(2000)年改修, 平成 27(2015)年耐震改修竣工
- ・地上 2 階地下 1 階, 時計台
- ・図書館使用部分床面積 1,931 m²※

※ 時計台棟には, 図書館施設のほか, 教員研究室も配置されている。

昭和 5(1930)年, 本学の前身である東京商科大学の谷保村(現・国立市)移転と共に建設された。西キャンパスの中心に位置し, 時計台と 2 階大閲覧室は, 今日においても一橋大学のシンボリック的存在である。1 階は主に展示や研修のためのスペースにあてられている。

平成 24(2012)年に時計台棟コモンズを開設し, グループ学習などアクティブラーニングに対応する施設として年間 1 万人を超える多くの利用がある。

令和元年度に, 施設整備費補助金により, 大閲覧室の天井面に落下防止ネットを張る改修工事を行い, 大規模地震への安全対策が強化された。

2階	大閲覧室
1階	エントランスホール, 附属図書館会議室, 時計台棟コモンズ, 図書館展示室, 図書館セミナールーム, 名誉教授閲覧室, 保存修復室, 学園史資料室
地階	書類保管庫



時計台棟外観



時計台棟から図書館本館入口を見る

(2) 図書館本館

- ・平成 12(2000)年竣工
- ・地上 4 階地下 1 階, 一部 5 階
- ・延床面積 6,693 m²

旧図書館本館の出納および事務スペース(時計台棟背面部分)と当時の「第一書庫」を取り壊した跡に, 新しい図書館本館として平成 12(2000)年に竣工, 開館。

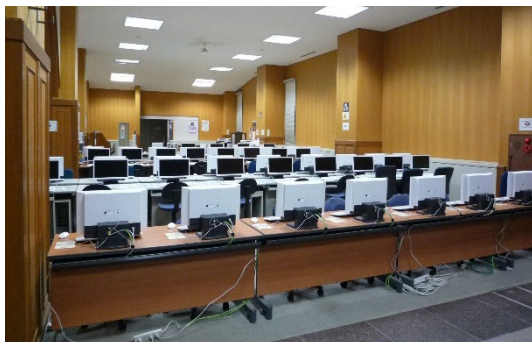
100 万冊規模の開架図書に加えて, 50 台の情報検索端末や読書スペース Yomocca が設置されている。

平成 29 年度には, 劣化していた各フロアのトイレについて, 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金による改修があり, 節水型器具の整備等, 機能・美観が大きく改善された。

5階	機械室
4階	貴重資料室, マイクロ資料室, 事務室
3階	開架閲覧室
2階	開架閲覧室, グループ学習室, 大閲覧室入口
1階	カウンター(受付/貸出/返却/ヘルプデスク), 参考図書コーナー, 情報検索コーナー, 読書スペース Yomocca, 書庫入口, 雑誌棟連絡通路, 事務室
地階	開架書庫, 機械室



読書スペース Yomocca(図書館本館1階)



情報検索コーナー(図書館本館1階)



貴重資料室(図書館本館4階)

(3) 雑誌棟

- ・昭和 55(1980)年竣工(地上 3 階現低層部分)
- ・平成 8(1996)年増改築竣工
- ・地上 5 階地下1階
- ・延床面積 4,246 m²

閉架中心の研究図書館であった旧図書館本館に対して、学習図書館(新館(当時))として昭和 55(1980)年に開館。平成 8(1996)年の増改築後は、平成 12(2000)年の現・図書館本館開館まで、学習図書館機能を果たした。

現在は、雑誌、新聞等の逐次刊行物および統計、白書、法令資料等が集中配置されている。また、社会科学系外国雑誌センター館雑誌および EU 資料も配置されている。

5階	開架閲覧室, グループ学習室
4階	開架閲覧室
3階	開架閲覧室
2階	開架閲覧室
1階	開架閲覧室, 新聞コーナー, 事務室, 本館連絡通路
地階	開架書庫, 機械室



新着雑誌コーナー(雑誌棟1階)

(4) 第二書庫

- ・昭和 39(1964)年竣工
- ・平成 21(2009)年耐震改修竣工
- ・地上 4 層
- ・延床面積 846 m²



第三書庫(4階)

(5) 第三書庫

- ・昭和 58(1983)年竣工
- ・地上 4 層地下 1 層
- ・延床面積 885 m²

書庫の出入口にはカード認証リーダを設置し、教職員および大学院生が入庫できるようになっている。学部学生等は、職員の出納により書庫の資料を利用できる。

令和元(2019)年 10 月の台風 19 号の影響により、雨量が屋上の排水能力を超え、屋上の施錠扉の隙間から第二書庫も含めて全フロアに浸水を受けたが、被災後速やかに、屋上

からの浸水防止および排水力向上のための補修や浸水防止のための改修工事が行われた。

なお、「第一書庫」は現・図書館本館新築のため平成 11(1999)年に解体されたが、「第二書庫」「第三書庫」の呼称はそのまま踏襲した。

(6) 小平研究保存図書館

- ・平成 26(2014)年改修
- ・地上 2 層地下 1 層
- ・延床面積 2,131 m²



小平研究保存図書館

平成 26 年度国立大学法人施設設備整備費補助金(国立大学改革基盤強化促進費)により、「近現代日本経済史・経営史のためのアーカイブスの整備等」事業が採択され、書架の整備およびアーカイブスのための環境整備を行った。

6.2 閲覧座席数, 収容可能冊数, 床面積

令和 4(2022)年 5 月 1 日現在

	閲覧座席数	収容可能 冊数 (千冊)	床面積(m ²)						
			延床面積	サービス用途			管理用途		その他
				閲覧	情報	その他	書庫	事務	
時 計 台 棟	381[175]		1,931	694		174	87	272	704
図 書 館 本 館	204[95]	882	6,693	2,493	105	129	1,202	835	1,929
雑 誌 棟	217[93]	674	4,246	2,532	3	37	455	186	1,033
第 二 書 庫		172	846				846		
第 三 書 庫		229	885				885		
連絡通路等			201						201
小平研究保存 図書館	24[24]	313	2,131	43		41	1,330	123	594
合 計	826[387]	2,270	16,933	5,762	108	381	4,805	1,416	4,461

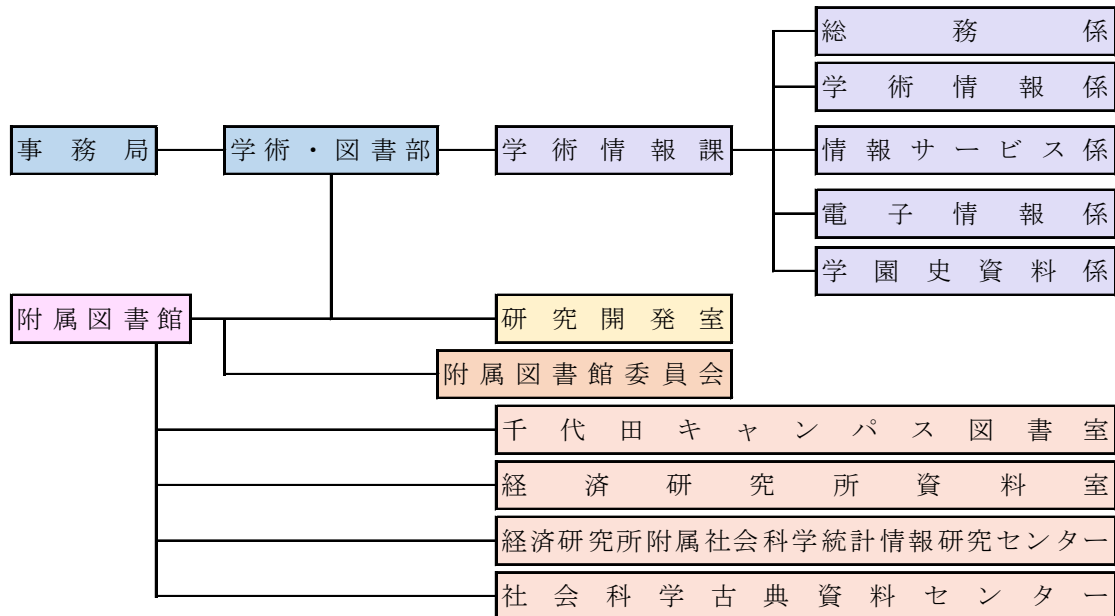
※閲覧座席数の括弧[]内は実際に利用できる座席数(感染症対策による間隔確保のための座席数制限)。

※収容可能冊数は、1 棚(90cm)25 冊で計算。

7. 組 織

7.1 組織機構図

令和 4(2022)年 5 月 1 日現在



7.2 学術・図書部職員の配置

	一般職員		契約・パート タイム職員	計	備 考
	図書系	その他			
部 長		1		1	
課 長		(1)		(1)	部長兼務
課 長 代 理	1			1	
専 門 員		1	1	2	電子情報担当/学園史資料担当
専 門 職 員	5			5	会計担当/電子リソース担当/ 資料整備担当/学修・研究支援 担当/貴重資料担当
総 務 係		1	1	2	
学 術 情 報 係	5		9	14	
情 報 サービス 係	4	1	16	21	うち 小平研究保存図書館 1 時間外開館職員 6
電 子 情 報 係	2	(1)	2	4(1)	係長は専門員が兼務
学 園 史 資 料 係	1(1)		1	2(1)	係長は課長代理が兼務
人数合計	18	4	30	52	

※()内は、外数で兼務を示す。学術・図書部内での兼務については、人数合計欄において兼務分の計上はしていない。

7.3 附属図書館研究開発室

附属図書館研究開発室は、図書館機能の強化に関する様々な調査研究を行うため、平成24(2012)年4月に設置した組織である。業務内容の見直しおよび効率化を図るため、平成30(2018)年10月に一橋大学附属図書館研究開発室規則の一部改正を行った。

(1) 役割

- 歴史的資料の保存・公開に関する調査研究
- 附属図書館の情報発信の機能強化に関する調査研究

(2) 体制

令和4(2022)年5月1日現在

	氏名	所属・職名	任期
室長	三隅 隆司	附属図書館長	令 2.4.1 ~ 令 6.3.31
室員	石居 人也	社会学研究科教授	平 30.12.10 ~ 令 6.3.31
	大月 康弘	経済学研究科教授	令 2.4.1 ~ 令 6.3.31
	加藤 圭木	社会学研究科准教授	平 30.12.10 ~ 令 6.3.31
	佐藤 仁史	社会学研究科教授	令 2.4.1 ~ 令 6.3.31
	友部 謙一	経済学研究科教授	令 2.4.1 ~ 令 6.3.31

(3) 成果の公表：『一橋大学附属図書館研究開発室年報』

研究開発室の年間の活動および研究成果を公表することを主たる目的とし、併せて図書館活動に関わる事業・調査・研究報告を行うため、平成24(2012)年度に『一橋大学附属図書館研究開発室年報』を創刊、2022年3月 No.10を発行。

一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”等で、本文の電子公開を行っている。

・No.10 PDF ファイル(一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR)
<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/ir/rdo/rdo00010.pdf>



7.4 附属図書館委員会名簿

令和 4(2022)年 5 月 1 日現在

所属・職名		氏名	任期	予算検討 WG※
附属図書館長	教 授	三 隅 隆 司	令 2.4.1～令 6.3.31	○
役員補佐	教 授	阿 部 修 人	令 2.9.1～令 4.8.31	○
経営管理研究科	教 授	安 田 行 宏	令 3.4.1～令 5.3.31	○
〃	准教授	鎌 田 裕 美	令 4.4.1～令 6.3.31	
経済学研究科	准教授	杉 田 洋 一	令 3.4.1～令 5.3.31	○
〃	准教授	砂 川 武 貴	令 4.4.1～令 6.3.31	
法学研究科	教 授	緑 大 輔	令 3.4.1～令 5.3.31	○
〃	准教授	小 峯 庸 平	令 4.4.1～令 6.3.31	
社会学研究科	講 師	田 中 亜 以 子	令 3.4.1～令 5.3.31	○
〃	教 授	佐 藤 仁 史	令 4.4.1～令 6.3.31	
言語社会研究科	准教授	有 賀 暢 迪	令 3.4.1～令 5.3.31	○
経済研究所	教 授	森 川 正 之	令 3.4.1～令 5.3.31	○
全学共通教育	教 授	米 田 剛	令 4.4.1～令 6.3.31	○
〃	教 授	寺 尾 智 史	令 4.4.1～令 6.3.31	
社会科学古典資料センター	教授(兼務)	森 宜 人	令 2.4.1～	
学術・図書部	部 長	風 間 智 光	令 3.4.1～	○
(館長が必要と認めた者) SDS センター	助 教	清 家 大 嗣	令 4.5.1～	

※「一橋大学附属図書館予算検討 WG」は、附属図書館の予算の今後の方針について審議するため、令和 3 年度より附属図書館委員会のもとに設置した。

7.5 歴代附属図書館長

初 代	高垣 寅次郎	大 15.11.29 ～昭 11.12.10	第 18 代	森 田 哲 彌	昭 61.12.1～平元. 6.15
第 2 代	本 間 喜 一	昭 11. 2.10～12. 3. 5	第 19 代	外 池 正 治	平元. 6.16～ 3. 6.30
第 3 代	吹 田 順 助	昭 12. 3. 5～19. 8.11	第 20 代	宮 川 公 男	平 3. 7. 1～ 6. 6.30
第 4 代	山 田 雄 三	昭 19. 8.11～21.12. 1	第 21 代	中 村 政 則	平 6. 7. 1～ 9. 6.30
第 5 代	村 松 恒 一 郎	昭 21.12. 1～25. 5.18	第 22 代	石 弘 光	平 9. 7. 1～10.11.30
第 6 代	山 口 茂	昭 25. 5.18～26. 6.18	第 23 代	安 藤 英 義	平 10.12. 1～13.11.30
第 7 代	加 藤 由 作	昭 26. 6.18～28. 7.14	第 24 代	池 間 誠	平 13.12. 1～16.11.30
第 8 代	村 松 恒 一 郎	昭 26. 7.14～35. 3.31	第 25 代	斎 藤 修	平 16.12. 1～20.11.30
第 9 代	高 橋 泰 蔵	昭 35. 4. 1～36. 4.16	第 26 代	渡 辺 雅 男	平 20.12. 1～22.11.30
第 10 代	森 田 優 三	昭 36. 4.16～40. 3.31	第 27 代	江 夏 由 樹	平 22.12. 1～26. 3.31
第 11 代	馬 場 啓 之 助	昭 40. 4. 1～43. 3.31	第 28 代	青 木 玲 子	平 26. 4. 1～26.11.30
第 12 代	板 垣 興 一	昭 43. 4. 1～46. 3.31	第 29 代	山 部 俊 文	平 26.12. 1～30. 3.31
第 13 代	小 泉 明	昭 46. 4. 1～50. 9.10	第 30 代	大 月 康 弘	平 30. 4. 1～令 2. 3.31
第 14 代	増 淵 龍 夫	昭 50. 9.10～53. 9. 9	第 31 代	三 隅 隆 司	令 2. 4. 1～
第 15 代	木 村 増 三	昭 53. 9.10～56. 9. 9			
第 16 代	大 川 政 三	昭 56. 9.10～59. 9. 9			
第 17 代	川 井 健	昭 59. 9.10～61.11.30			

8. 沿 革

1875年	8月	森有礼が銀座尾張町に商法講習所を私設する。
1884年	3月	商法講習所は農商務省の直轄となり、東京商業学校と改称する。
1885年	9月	東京商業学校、東京外国語学校および同校所属高等商業学校を併せて、新たに東京商業学校と称し、神田区一ツ橋通町の旧東京外国語学校舎に開設する。 初めて図書室を設け、図書掛3名を置く。
1887年	10月	高等商業学校と改称する。
1894年		図書館を新築する。
1899年	4月	附属外国語学校が再び分離独立し、東京外国語学校(現・東京外国語大学)となる。
1902年	4月	勅令により東京高等商業学校と改称する。
1909年	2月	新図書閲覧所(木造2階建)が開館する。
1917年	5月	御大典記念図書館(鉄筋4階建書庫、木骨煉瓦張事務室および閲覧室)が竣工する。
1920年	4月	大学に昇格し、東京商科大学が発足する。
1923年	9月	関東大震災により、本学校舎の大半を失うが、図書館内の蔵書および三井ホールに保管中のメジャー、ギールケ両文庫は厄災を免れる。
1926年	9月	勅令により官制上初めて、本学に附属図書館が設置される。館長と司書2名を置く。
1930年	10月	新キャンパス(現・国立市)で附属図書館が開館する。
1936年	4月	東京府北多摩郡小平村(現・小平市)に図書館予科分館(後の小平分館)が開館する。
1944年	9月	東京産業大学と改称する。
1947年	3月	大学名を東京商科大学に復する。
1949年	5月	国立学校設置法が公布され、一橋大学が発足。 附属図書館の事務組織が確立する。事務長および本館に4係(総務、洋書、和漢書、閲覧)、分館に図書係を置く。
1969年	4月	小平分館(鉄筋2階建)を新築する。9月開館。
1977年	3月	図書館貴重書書庫(現・社会科学古典資料センター建物)が竣工する。
1978年	4月	社会科学古典資料センターが発足し、図書館長がセンター長を併任する。
		部課長制を敷き、整理課、閲覧課の2課を置く。
1980年	3月	図書館新館(鉄筋コンクリート造3階建)が竣工する。9月開館。
1981年	6月	情報処理センター汎用機を利用し、新館閲覧業務の電算処理を開始する。
1991年	2月	図書館業務電算システム“HERMES”を導入する。
1996年	10月	附属図書館ウェブサイトを開設する。
1997年	4月	小平分館を廃止し、小平図書収蔵庫とする。
	6月	WebによるOPACおよびCD-ROM検索サービスを開始する。
2000年	10月	附属図書館新本館が開館する。新館を雑誌棟に改称する。
2001年	11月	一橋デジタルアーカイブズ“HDA”を公開する。
2004年	4月	国立大学法人に移行する。旧附属図書館事務部と事務局研究協力部門および情報処理部門を併せて「学術・図書部」に改組する。
2007年	5月	一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”を公開する。
2014年	1月	小平図書収蔵庫を改修する。
	4月	小平研究保存図書館を設置する。

2020 年	2 月	附属図書館ウェブサイトをリニューアル, HERMES-Search をメイン検索ツールとする。
--------	-----	---

一橋大学附属図書館概要

令和 4(2022)年度

2022 年 6 月発行

編集発行：一橋大学附属図書館

〒186-8602 東京都国立市中 2 丁目 1 番地

TEL 042-580-8223 MAIL lib-dm@ad.hit-u.ac.jp

Website： <https://www.lib.hit-u.ac.jp/>

Twitter： https://www.twitter.com/hito_lib [@hito_lib]

Facebook： <https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library>